

よろっさ やろっさ つなごっさ! 春 まち ぽかぽか プロジェクト



かわらばん! その12

プログラム12 本当の“こころの豊かさ”を考える 講演会を聞いてみよう

2月25日(金) 13時30分~15時30分

石川県立寺井高等学校において、
高校2年生200名と、一般参加者56名
計256名の参加のもと、公開講演会が
開催されました。

日	月	火	水	木	金	土
						2/12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26

内容

能美市ボランティア連絡協議会及び小松・能美ボランティア連絡会の研修会と、能美市青少年健全育成講演会の合同開催の形で、寺井高等学校2年生の皆さんと「豊かなアジア・貧しい日本~心の豊かさを求めて~」と題して、テレビタレントとして活躍しながら、地域のボランティアにも積極的に活動している多民族共生人権教育センター理事 J・A・T・D・ にしゃんた氏を講師に迎え、講演を頂きました。

にしゃんた氏は23年前に来日し、当初は日本の文化や習慣に戸惑ったことを、ユーモアたっぷりに語りかけながら、現在の多様性の時代には違いがあることに気づくことが、豊かな心を追求する第一歩となることや、個人の違いを受け入れ、その違いを楽しむことが、自分の力となり、優しくなれること、そして、そのことが多様な人が意思決定に参加できる地域づくりにつながっていくということをお話されました。

まとめ

地域を良くするためには3つの壁『①心の壁(思い込み、偏見、無関心) ②言葉の壁(言葉を変えないことや言語の違い) ③文化やルールの壁』があり、この壁を壊すために、多様性に対応し、柔軟にルールなども変更しながら、しっかり話し合い、知り合うことが豊かな地域づくりへのキーワードとなるという、にしゃんた氏の話に生徒や一般参加者は大きくうなづきあいました。また、季節の節目の行事や挨拶やお中元などの習慣は、面倒なことだと思えるかもしれないが、人と人とのつながりを深めることにつながり、日本人として失わないようにとの願いも語られ、「多くの命を大切に願う」という素敵な挨拶の言葉「アユボワン」を教えてくださいました。

参加者の感想

- * おもしろい話の中に、深い話があって考えさせられ、ためになった。
- * 人と人のかかわりの大切さが印象に残った。
- * 「違いは楽しむもの」という言葉が心に残り、私も他の人との違いを楽しみたいと思った。
- * とても良い話で、日本人のこれからのテーマがあったように思いました。もっと聞いてもらいたいです。
- * 地域づくりの中での「違いの受け入れ」はっとさせられました。高校生もしっかり聞いていました。



関西弁をスラスラ話され、ワツと笑わせ、しっかり考えさせられた講演。生徒にも大人気でした。

